

令和5年度自主文化事業一覧

令和5年度 自主文化事業実施報告									
	事業名	開催形式	実施日時	発売月日	会場	対象 ／ 定員	チケット料金	入場者数 (入場率)	備考 〔チケット販売枚数(当月末時点) または申し込み人数〕
まちづくり	講座「コンサートの作り方」	主催	①6月16日(金) ②6月23日(金)	—	県立逗子葉山高等学校	1年生	—	—	19名受講
鑑賞	【共催】第16回なぎさプラスソリステン 逗子コンサート	共催	7月3日(土) 19:00開演	4月20日(木)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 4,500円 高校生 2,500円 小中学生 1,000円	481名 (87.3%)	招待101名含む 最終券売数：64枚 (ホール委託69枚) *未就学児入場不可
鑑賞	LEO奪りサイタル2023 -GRID//OFF-	主催	7月9日(土) 14:00開演	4月28日(金)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	331名 (63.0%)	招待7名含む 最終券売数：354枚 *未就学児入場不可
鑑賞	逗子落語会 蝶花楼桃花・桂宮治 二人会	主催	7月15日(土) 17:00開演	4月28日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	456名 (82.8%)	招待2名含む 最終券売数：461枚 *未就学児入場不可
トモイク	絵本作家 山本祐司さんと 一緒に絵本をつくろう2023 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	主催	こども： 7月22日(土) 24(月) 26(水) 8月9日(水) おとな： 9月23日(土) 30日(土) 10月14日(土)	こども： 5月27日(土) おとな： 6月24日(土)	さざなみホール	小学生 ／ 70名 中学生以上 ／ 35名 オンライン ／ 60名 (各回20名)	参加費 【施設】2,000円 【オンライン】1,000円	こども：70名 (100%) おとな：35名 (100%) オンライン：15名 (25.0%)	*先着順 *オンライン受講者の材料は別途300円で 購入可 *こども：午前35名、午後36名(1名キャンセル)、オンライン10名 *おとな：35名、オンライン6名
社会的 包摂	【共催】KAATキッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前 作品の1シーンを一緒につくろう！ 無料創作ワークショップ	共催	8月4日(金)	6月2日(金)～ 7月22日(土)	ギャラリー	小学校 3年生～ 6年生	無料	—	6名参加
社会的 包摂	【共催】KAATキッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前	共催	8月6日(日) 14:00開演	5月25日(木)	なぎさホール	428名	全席自由 おとな 4,500円 こども 1,000円 おとな・こどもペア券 5,000円 神奈川県民割引 4,000円	161名 (37.6%)	招待43名含む 最終券売数：63枚 (ホール委託100枚) *4才からチケット必要 *3才以下入場不可
トモイク	手作り絵本のミニ展覧会	主催	こども： 8月24日(木) ～ 27日(日) おとな： 11月16日 (木)～ 19日(日)	—	ギャラ リー	—	—	こども：131名 おとな：209名	こども：作品16点 おとな：作品20点
まちづくり	アウトリーチ アート便2023	主催	9月～3月	—	市内小中 学校	—	—	①167名 ②45名 ③211名 ④79名 ⑤189名 ⑥135名 ⑦105名 ⑧106名 ⑨120名 ⑩128名 ⑪60名 ⑫118名 ⑬167名	和太鼓(和太鼓グループ彩-sai-) ①9月6日(水)沼間小学校3年生(1) ②9月15日(金)逗子社の郷(1) ③11月9日(木)体験学習施設スマイル(1) ④12月8日(金)沼間中学校2年生(1) ⑤12月14日(木)久木中学校2年生(1) 世界の音楽 (葛西啓之・杉田篤史・東川翼) ⑥10月24日(火)双葉保育園(1) ⑦10月24日(火)池子小学校5.6年生(1) ⑧12月20日(水)逗子中学校2年生(1) ⑨2月21日(水)逗子中学校3年生(1) 落語(三遊亭わん丈) ⑩11月15日(水)逗子小学校5年生(1) ⑪12月13日(水)小坪小学校5年生(1) ⑫12月13日(水)久木小学校6年生(1) ⑬2月20日(火)久木中学校3年生(1)
まちづくり	【共催】交流センターフェア2023	共催	9月9日(土)	—	なぎさ ホール	551名	入場無料	—	舞台裏体験参加生徒：8名
鑑賞	青島広志のおしゃべりコンサート	主催	9月10日(日) 14:00開演	6月9日(金)	なぎさ ホール	551名	全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円	197名 (35.8%)	招待2名含む 最終券売数：205枚 *未就学児入場不可

令和5年度自主文化事業一覧

令和5年度 自主文化事業実施報告

	事業名	開催形式	実施日時	発売月日	会場	対象 /定員	チケット料金	入場者数 (入場率)	備考 〔チケット販売枚数(当月末時点) または申し込み人数〕
地域資源	逗子次世代育成プロジェクトVol.4	共催	11月18日(土)	9月29日(金)	なぎさホール	528名	全席指定 前売4,000円 当日4,500円	62名 (100.0%)	最終券売数：62枚 *0才からチケットが必要
社会的包摂	【共催】みんなでアート	共催	10月21日(土)、22日(日)	—	さざなみホール	一般	入場無料 (一部有料)	400名	*逗子アートフェスティバル2023企画 *ソーイングワークショップ ①7月29日(土)、②8月5日(土)、③9月3日(日) *入場者数はフェスティバルパークも含む
鑑賞	細川千尋ピアノ・トリオ JAZZ LIVE Seasons of Love~Broadway Jazz	主催	12月3日(日) 14:00開演	8月26日(土)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	150名 (28.6%)	招待4名含む 最終券売数：152枚 *未就学児入場不可
社会的包摂	0才からのコンサート ピバ!!!パーカッション	主催	12月16日(土) 11:00開演	8月26日(土)	なぎさホール	551名	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	327名 (59.3%)	招待5名含む 最終券売数：357枚 *0才からチケット必要
まちづくり	和太鼓グループ影 -sai- 逗子公演 Vol.5 和太鼓彩プロ化10周年記念プロジェクト 第三弾 渚Brilliance	主催	1月20日(土) 14:00開演	10月6日(金)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	463名 (88.2%)	招待4名含む 最終券売数：503枚 *未就学児入場不可
地域資源	華麗なる双子 山田姉妹ソプラノデュオ コンサート ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー ~逗子のころ~ withなぎさ合唱団	主催	2月10日(土) 14:00開演	10月6日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 前売3,000円 (当日3,500円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	487名 (92.7%)	招待12名含む 最終券売数：524枚 *未就学児入場不可
鑑賞	【さざなみ亭落語会】 三遊亭わん丈& みんなで劇る落語会 其の七	主催	2月17日(土) 14:00開演	10月6日(金)	さざなみホール	120名	全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	122名 (101.7%)	招待1名含む 最終券売数：127枚 *未就学児入場不可
鑑賞	KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 2023 「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人魚姫」	共催	2月28日(土)	11月19日(日)	なぎさホール	338名	入場整理番号付き自由券 一般 3,800円 神奈川県民割 3,400円 U24チケット 1,900円 高校生以下 1,000円 シルバー割 3,300円	264名 (78.1%)	招待46名含む 最終券売数：123枚 (ホール委託125枚) *3才以下入場不可
まちづくり	【共催】能登半島地震被災者支援活動報告会	共催	3月18日(月) 15:00開演	—	さざなみホール	60名	入場無料	21名 (35.0%)	YouTube (3月末)：116回
鑑賞	宮田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ ~チェロとハープによる美しい音色~	主催	3月20日(水) 14:00開演	12月1日(金)	なぎさホール	553名	全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,000円	543名 (98.2%)	招待3名含む 最終券売数：551枚 *未就学児入場不可
トモイク	【共催】トモイクフェスティバル2024	共催	3月23日(土)~24日(日)	—	なぎさホール さざなみホール ギャラリー	—	—	3,507名	

令和5年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
4月	◆4月24日 チケット発売 「【共催事業】第16回 なぎさプラスソリス テン 逗子コンサート」	10時よりチケット発売を開始。販売は窓口のみで行った。 「なぎさプラス」公演は、4年ぶりの公演ということもあり、チケット発売前から問い合わせが多数あった。チケットは、79枚をホールで受託し、発売初日に一般16枚、小中学生2枚、合計18枚の販売があった。今後も広報活動に協力をしていく。
	◆4月28日 チケット発売 「LEO箏リサイタル2023 -GRID//OFF-」 「逗子落語会 蝶花楼桃花・桂宮治 二人会」	10時より市民先行販売、13時より一般発売を行った。 「LEO」公演は、発売初日に128枚の予約があり、4月までの予約枚数は160枚となっている。また「逗子落語会」公演は、発売初日に220枚の予約があり、4月までの予約枚数は、248枚となっており、両公演ともに好調のスタートとなっている。引き続き広報を行い完売を目指す。
5月	◆5月25日 チケット発売 「【共催事業】KAATキッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前」	10時よりチケット発売を開始。ホールでは、5月末日までにおとな・こどもペア券が2組、神奈川県民割引が1枚の合計5枚の販売があった。チケットはホール以外にもチケットかながわ等でも販売している。今後も広報活動に協力をしていく。
	◆5月24日 募集開始 「こどものための手作り絵本講座」	毎年人気の子どものための手作り絵本講座の募集を施設受講・オンライン受講ともに開始した。今年は、逗子在住の絵本作家、山本祐司さんに講師を依頼。市内小学校へチラシの全校配布も行ったが、市外からの参加者も呼び込めるよう、WEB媒体での広報なども引き続き行っていく。申込は、5月末時点で、施設・オンラインを含め39名の申込みとなっている。
6月	◆6月9日 チケット発売 「青島広志おしゃべりコンサート」	10時より市民先行販売、13時より一般発売を行った。6月末時点でのチケット販売枚数は、一般61枚、高校生以下1枚の合計62枚となっている。引き続き、広報を行い完売を目指す。
	◆6月16、23日 『講座「コンサートの作り方」』開催	県立逗子葉山高等学校1年生の総合的な探究時間におけるワークショップの1講座として19名の生徒が本講座を受講。講師として、事業課担当と舞台技術担当が務めた。 1日目には、ホールの紹介やコンサートができるまでの公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目にグループに分かれ好きなアーティストの公演を制作するワークショップを行った。 今年は昨年に引き続き、9月の交流センターフェアにて希望の講座受講者に舞台裏体験をしていただく。
	◆6月24日 募集開始 「おとなのための手作り絵本講座」	毎年人気の大人向けの手作り絵本講座の募集を施設受講・オンライン受講ともに開始した。今年は、逗子在住の絵本作家、山本祐司さんに講師を依頼。市外からの参加者も呼び込めるよう、WEB媒体での広報なども引き続き行っていく。申込は6月末時点で、施設・オンラインを含め7名の申込みとなっている。
7月	◆7月3日 共催「第16回 なぎさプラス ソリステン 逗子コンサート」開催	逗子文化プラザホール開館を機に結成され、毎年開催されていた「なぎさプラスソリステン」によるコンサートを4年振りに開催。開場直後から多くの方が入場され、このコンサートの開催を待ち遠しく思われていた方が多いことが伺えた。 前半は、クラシックや吹奏楽の名曲を中心に演奏。休憩を挟み、後半は、前半の正装から夏を思わせるアロハシャツへと衣装替えし、吹奏楽の名曲からポップスなどを演奏した。アンコールでは湘南ヒットソングメドレーと題しておなじみの夏のポップスの演奏もあり、最初から最後まで、演者も観客も一体に、盛り上がった公演であった。 アンケートにおいても「素晴らしい」「楽しかった」「ありがとう」のコメントが多数あり、多くの方に満足いただけた公演であった。
	◆7月8日 「LEO箏リサイタル2023 - GRID//OFF-」開催	本公演は、今年度最初的主催公演であり、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されてから初めての主催公演であった。マスク着用が個人判断になるなど、昨年度とは会場内の様子も変わったが、大きな混乱は見られなかった。 公演は、第1部はLEO氏による箏のソロ演奏をメインに、第2部はロー氏のピアノ、林氏のヴァイオリンとのトリオ演奏で構成。LEO氏による美しく繊細な箏の音色、巧みなテクニックをはじめ、箏、ピアノ、ヴァイオリンが美しく力強く混ざり合った音色などに観客はとても感動した様子であった。 また、公演アンケートにおいても「大満足」「とにかく素晴らしいです」など好評の声をいただくことができ、なかには「はじめて箏の音色を聞いた」との声もあり、伝統楽器である箏に触れる機会を、本公演により提供することが出来たことは、ひとつの成果であった。 今後お客様にとって有意義な公演、体験を提供できるよう努めていく。
	◆7月15日 「逗子落語会 蝶花楼桃 花・桂宮治 二人会」開催	毎年好評の逗子落語会を今年も開催。今年度は、寄席のプリンセスとして注目の蝶花楼桃花師匠と、お茶の間の人気番組でもお馴染みとなった桂宮治師匠のお二人を迎え開催した。 前座は桂枝平氏が「浮世根間」を披露し、次に今年の9月に真打昇格予定で実家が相撲部屋内の林家木りん氏が「力士の春」を披露し場をあたためた。 続いて、蝶花楼桃花師匠が登場すると会場内からは大きな拍手が沸き起こった。桃花師匠は、三遊亭白鳥師匠作の「任侠流山動物園」で笑いを誘い、噺の後には「玉すだれかつぼれ」を披露。場内は大いに盛り上がった。 仲入りを挟み、翁家助氏が太神楽を披露。大技が決まると、大きな拍手が起こっていた。最後に、桂宮治師匠が登場。「笑点」の裏話などの枕で観客を盛りあげたのち、「お化け長屋」を披露した。噺がクライマックスに向かうに連れて、場内は笑いの渦に巻き込まれ、客席では観客の楽しそうな笑顔が見受けられた。 公演アンケートでは、「とても楽しかった」、「またやってほしい」、「曲芸が素晴らしい」といった喜びの声があがった。 今後も、日本の伝統芸能である落語や太神楽などを楽しんでいただける機会を提供していく。
	◆7月22日、24日、26日 「こどものための手作り絵本講座 第1 回～第3回」開催	今年から逗子市在住の絵本作家・イラストレーターの山本祐司氏を講師として迎え、「こどものための手作り絵本講座」を開講した。 午前、午後枠ともに定員に達し、キャンセル待ちを受け付けた。オンライン受講は午前、午後をあわせて10名の申し込みとなった。今年度も低学年の参加を中心に、友人同士やきょうだいで参加が見られ、なかには昨年受講した参加者もあり、講座の人気の高さが伺えた。 第1回では、どんな絵本があるか、しかし絵本の作り方などを学び、第2回では、参加者がつくりたい絵本の下描きを行った。第3回は、本番の画用紙に絵や文字を入れ、絵本の中身を作る作業を進めた。各回ともに一生懸命に作業をする姿が見られ、先生へ「どうすれば分かりやすく描けますか」「たぬきはどのように描きますか」など熱心に質問をしていた。 8月9日に最終回を迎え、いよいよ製本作業を行い、絵本を完成させる。また、希望者を募り、8月24日～27日にギャラリーにて、「手作り絵本のミニ展覧会」を開催する。
◆7月28日 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導①」	1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.5」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への1回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。	
◆7月29日 「みんなでアートワークショ ップ①」開催	共催「みんなでアート」のワークショップとして、宮澤氏による古着リメイクのワークショップをギャラリーおよび1階ホワイエにて開催した。 今年度のワークショップは、「帽子アートからのトータルファッション」をテーマに開催され、第1回目の今回は、帽子とトータルイメージのデザインを行った。	
8月	◆8月4日 共催「KAATキッズ・プログラム2023 さ いごの1つ前 作品の1シーンと一緒にくろう！無料創 作ワークショップ」開催	共催「KAATキッズ・プログラム2023 さいごの1つ前」公演に向け、8月4日に、事前ワークショップとして、「作品の1シーンと一緒にくろう！無料創作ワークショップ」をギャラリーにて開催。6名が参加し、作中に登場する『楽しい地獄の絵』を制作した。アイズブレイクなどを交えながら、「楽しい地獄」のイメージを膨らませ、思い思いの「楽しい地獄」の世界を大きな模造紙いっぱいに創り上げていた。完成した作品は、8月6日の公演演出として披露された。
	◆8月5日 「みんなでアートワークショ ップ②」開催	共催「みんなでアート」のワークショップとして、宮澤氏による古着リメイクのワークショップをギャラリーおよび1階ホワイエにて開催した。 今年度のワークショップは、「帽子アートからのトータルファッション」をテーマに開催され、第2回は新たな参加者によるデザインと、第1回目に参加した方のソーイングワークを行った。

令和5年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
8月	◆8月6日 共催「KAATキッズ・プログラム2023 さいごの1つ前」開催	<p>神奈川芸術劇場と共催で「KAATキッズ・プログラム2023 さいごの1つ前」を開催。「天国と地獄の分かれ道で、なくした記憶を探そうしばい」ということもあり、「天国」や「地獄」が物語の中に散りばめられ、8月4日の事前ワークショップで制作した『楽しい地獄の絵』も作中に登場した。</p> <p>また、観客に拍手や足踏みなどを求める演出もあり、出演者と観客に一体感が生まれていた。観客から不意に言葉が投げかけられた場面では、舞台上の出演者も観客とのやりとりを楽しんでいる様子だった。入場者数は161名にとどまったが、親子や友だち同士で感想を話しながら、会場を後にする来場者が多く、物語の魅力に引き込まれた様子が伺えた。</p> <p>本事業は、神奈川芸術劇場が県の施設として県内基礎自治体施設と連携をはかることを目的とした巡回公演「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」の第二弾として、逗子が実施施設として選ばれたものである。これまで、神奈川芸術文化財団が実施する社会包摂インリーチ研修などに参加する中で、財団と少しずつ関係性を構築してきたことで、2023年度実施施設に選定いただくことができた。</p> <p>555席の単館施設では事業制作面・採算面からも実施が難しい演劇公演を、施設間連携で実施でき、市民に良質な参加型事業として実施することができたのが一番の成果である。</p> <p>今後も、誰かと内容を共有しやすくなるような良質なプログラムを提供できるよう努めていく。</p>
	◆8月9日「こどものための手作り絵本講座 第4回」開催	<p>最終回では、今まで描き上げてきた作品を1ページずつ貼り合わせ、中表紙と表紙を付け完成させていく作業を行った。低学年の参加者を中心に使い慣れない定規やカッターに悪戦苦闘しながらも、できる限り大人の力を借りずに自分の力で作ろうとするたくましい姿も見られた。また、きょうだいや友だち同士で知恵と手を貸し合いながら進めていく参加者もいた。回を重ねるごとに、自発的に作品に向き合う姿勢が深まり、一冊の絵本として形になっていくことで、喜びや自信につながっていく様子が表情からも伺えた。完成した絵本を嬉しそうに持ち帰る姿が印象的だった。</p>
	◆8月24日～27日「手作り絵本のミニ展覧会」開催	<p>7月から全4回開催した「絵本作家 山本祐司さんと一緒に絵本をつくろう2023 こどものための手作り絵本講座」の参加者の中から希望者の作品16点を展示。そのうちの1作品はオンライン受講者の作品だった。山本祐司さんより、一作品一作品ごとに講評のメッセージを作成いただき、作品に添えて展示することができ、参加者にとって思い出の深い展覧会とすることができた。</p> <p>4日間で131名の来場があり、いろいろなしなやかな絵本やカラフルな絵本など、個性豊かな手作り絵本を熱心に鑑賞していた。</p>
	◆8月26日 チケット発売 「細川千尋 ピアノ・トリオ JAZZ LIVE Seasons of Love～Broadway Jazz Grooves」 「0才からのコンサート ピバ！！パーカッ	<p>10時より市民先行販売、13時より一般発売を行った。</p> <p>「細川千尋」公演は、発売初日に14枚の予約があり、8月末時点の予約枚数は25枚となっている。また、「パーカッション」公演は、発売初日におとな14枚、こども9枚の予約があり、8月末時点の予約枚数は、おとな20枚、こども13枚となっている。引き続き広報を行い完売を目指す。</p>
9月	◆9月1日「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導②」	<p>1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol. 5」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への2回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。</p> <p>リズムの取り方を集中的に確認し、課題や改善点をアドバイスいただいた。</p>
	◆9月6日、15日「アート便2023(和太鼓)」実施	<p>今年度の最初のアート便は、6日に沼間小学校3年生を対象に、2施設目は、15日に高齢者施設 逗子社の郷の施設利用者を対象に「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩 -sai-を迎えた。</p> <p>沼間小学校ではステージではなく、体育館のフロアをステージに見立て演奏を実施。フロアに伝わる振動に「すごい」「びっくりした」など、生徒たちも興奮した様子で、演奏を楽しんでいた。</p> <p>逗子社の郷では、ロビーにて演奏を実施。一緒にリズムを取りながら楽しむ方や集中して演奏に聴き入る方など、それぞれに演奏を楽しむ様子が見られた。</p>
	◆9月9日「交流センターフェア2023 挑戦できる居場所」	<p>今年の交流センターフェア2023では、ホール開催の事業として、なぎさホールにて神奈川県立逗子葉山高等学校の学校紹介や吹奏楽部、軽音楽部の発表を「挑戦できる居場所」と題して開催した。また当日は、6月に実施した「コンサートの作り方」の講座から8名の生徒が参加し、バックステージツアーや実際に舞台照明や音響を体験する舞台裏体験を行った。</p> <p>舞台裏体験参加者は、ホール舞台スタッフからの説明や指示を受けながら、機器を操作するなど楽しそうに体験に参加していた。リハーサルで操作法を確認し、本番も照明、音響を担当。アンケートでは「楽しかった」などの感想が多数あり、体験を通してホールの仕事にも興味を持ってもらえたようだった。</p> <p>ステージでは、生徒会の生徒が司会、影アナウンスなどを担当した。舞台袖では「緊張する」とこわばった表情の生徒もいたが、ステージ上でスポットライトを浴びると、立派に挨拶をしていた。軽音楽部、吹奏楽部も楽しそうに演奏をしていて、それぞれに充実した公演になった。</p>
	◆9月10日「青島広志おしゃべりコンサート」開催	<p>青島広志氏によるおしゃべりコンサートを開催。青島氏は、開演間際までホワイエでグッズ販売に携わるなど、来場者とのコミュニケーションを楽しまれ、来場者もその気さくな人柄に驚いた様子だった。</p> <p>公演プログラムは、前半がオペラ、後半は日本歌曲や懐かしのアニメの歌などで構成され、それぞれの曲間では、青島氏の軽妙な話術によるオペラや曲の歴史の説明が織り込まれ、まさに「おしゃべりコンサート」だった。</p> <p>前半のオペラでは、圧倒的な歌唱力で会場を魅了し、終盤のアニメの歌では多くの観客の方が立ち上がって拍手していた。アンケートのコメントでは、「とても楽しかった」、「オペラが素晴らしかった」「かしまって聴くだけのコンサートよりも元気をもらった」など好評の声をいただくことができた。今後もお客様にとって有意義な公演を提供できるよう努めていく。</p>
	◆9月23日「おとなのための手作り絵本講座 第1回」開催 30日「おとなのための手作り絵本講座 第2回」開催	<p>こどものための手作り絵本講座に続き、絵本作家の山本祐司氏による「おとなのための手作り絵本講座」を全3回で開講。施設受講は35名の定員に達し、オンライン受講は6名の申し込みがあった。</p> <p>第1回目は、絵本のストーリーの作り方を中心に、絵本の進む方向や絵本のしなやかな作り方を学んだ。各自、下絵を描き進める作業では、講師に質問をする姿や隣の席の参加者に相談する姿も見られた。</p> <p>第2回目は、前半に、注意事項の確認や色塗りの際の画材の紹介などを行い、後半に、本番用の画用紙に下絵を描き移す作業を中心に行った。黙々と絵を描き進める参加者や、熱心に講師に質問をする参加者の姿が見られ、講師から「絵の位置をずらした方が折り返しにかならずなくない」「このまま描き進めていいと思いますよ」などアドバイスももらっていた。</p> <p>今回は、絵本の製本作業を行い、絵本を完成させる。</p>
	◆9月29日 チケット発売	<p>10時より「逗子次世代育成プロジェクトVol.4」のチケット発売と公演に付随する、和太鼓ワークショップの受付を開始した。発売初日は5枚の予約があり、9月末日までの予約枚数は8枚となっている。引き続き、公演およびワークショップの広報活動に努める。</p>
10月	◆10月6日 チケット発売 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演Vol. 5」 「華麗なる双子 山田姉妹ソプラノデュオ	<p>10時より3公演のチケット発売を開始。初日に「和太鼓グループ彩」公演は131枚、「山田姉妹」公演は125枚、「さざなみ亭落語会」は19枚予約があり、それぞれ10月末までの予約は、「和太鼓グループ彩」公演が228枚、「山田姉妹」公演が203枚、「さざなみ亭落語会」公演が34枚となっており、3公演とも好調なスタートとなっている。今後も広報活動を行い完売を目指す。</p>
	◆10月7日「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導③」	<p>1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol. 5」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への3回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。</p> <p>リズムの確認や打ち方、舞台上での表現方法について指導を行った。</p>
	◆10月14日「おとなのための手作り絵本講座 第3回」開催	<p>第3回目は、前半に絵本の製本作業を行い、後半にミニ発表会を実施した。参加者それぞれに、丁寧に製本作業を進める姿が見られ、参加者は集中して作業をしていた。また、隣同士で確認し合いながら作業を進めるなど、全3回の講座をとおして交流も生まれたようだった。</p> <p>後半のミニ発表会は、参加者数名の作品をスクリーンに映し、作者が内容を説明する形式で実施。スクリーンに作品が映し出されるたびに「可愛い」「すごいな」など、様々な感想が聞こえ、和やかな雰囲気の中、全3回の講座は終了した。</p> <p>11月には、希望者の作品を募り、逗子市立図書館のおはなし会とギャラリーにてミニ展覧会を行う。</p>

令和5年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
10月	◆10月21日、22日 「逗子アートフェスティバル2023 みんなでアート2023」	ホール共催事業(Bowlineプロジェクト主催)として「みんなでアート2023」を開催した。 21日は、さざなみホールにて「タップダンスワークショップ」、「シリウ氏によるマジック」、「塚原広氏によるピアノコンサート」、「バンドダンスユニットI am IIによるダンスパフォーマンス」、「ダンスパーティー」など多彩な催物が開催されたともに、フェスティバルパークにて、ファッションショーなどの催物も開催された。 22日は、さざなみホールにて「映画上映(ゆうやけ子どもクラブ!)」、「lutaku氏によるピアノコンサート」、「Tippo氏によるVRライブパフォーマンスとVRお絵描き体験」の催物が開催された。 全ての催物において、障がいのある方、ない方、子どもからおとなまで、誰もが混ざり合い楽しませている姿が印象的だった。今後も、今回のようなイベントを通して、障がいや病気の有無、年齢や性別に関係なく、混ざり合い、一緒に楽しむことができる催物、環境づくりの一助を目指していく。
	◆10月24日「アート便2023(世界の音楽)」実施	今年度のアート便3施設目、4施設目として、午前は双葉保育園、午後は池子小学校にて、葛西啓之氏(和太鼓)、杉田篤史氏(アカベラ)、東川眞氏(フラメンコギター)の3名を講師に迎え、「世界の音楽」を提供した。 双葉保育園は、2〜5歳児を対象にアート便を実施。講師が準備をする様子を観察するなど、アート便が始まる前から、開始を待ちわびていた。アート便が始まると、和太鼓やフラメンコギターの音にびっくりした様子も見られたが、杉田氏の手拍子に合わせて手拍子をする姿も見られ、リズムに乗って楽しそうに鑑賞していた。 池子小学校は、5・6年生を対象にアート便を実施。講師が「フラメンコはこの国の音楽か知っている」などの質問をすると、元氣よく手を挙げて回答し、講師と積極的にコミュニケーションの取る姿が印象的だった。アート便終了後も「すごかった」と朗読と音楽の融合に対して感想を先生に話している生徒もおり、普段とは一味違うメロディーや音楽の使い方に興味を持ったようだった。
11月	◆11月9日「アート便2023(和太鼓)」	今年度のアート便5施設目として、体験学習施設スマイルにて未就学児親子、近隣保育園幼稚園園児・先生を対象に「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩-sai-を迎えた。 演奏が始まると、隣同士で顔を見合わせるなど、和太鼓の音にびっくりした様子だったが、とても楽しそうに演奏を聴いていた。また、体験コーナーでは、ほとんどの園児が体験し、満足そうに顔を輝かせていた。
	◆11月11日「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導④」	1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol. 5」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への4回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 今回の公演のために作られた新曲を中心に練習を行った。
	◆11月15日「アート便2023(落語)」	今年度のアート便6施設目として、逗子小学校にて5年生を対象に「落語」を提供し、講師には三遊亭わん丈氏を迎えた。 アート便が始まる前から、間近で見る落語に興味津々で、三遊亭わん丈氏が話し始めると、とても楽しそうに落語に聞き入っており、終始笑いの絶えないアート便となった。SDGsを交えた創作落語では、授業でSDGsについて学んでいるということで「マイクロプラスチックだ!」などと、生徒から声が上がった場面もあった。
	◆11月16日〜19日「おとなのための手作り絵本講座ミニ展覧会」	11月16日〜19日で、おとなのための手作り絵本講座参加者の中から希望者の手作り絵本のミニ展覧会を開催した。今年は20作品の出展があり、昨年よりも4作品多い出展となった。日常を描いた作品や自分が好きなことを描いた作品、コラージュを用いた作品などさまざまな絵本が集まり、来場者は1冊ずつ手に取りながら熟読されている方が多く見られた。土日には家族での来場が多く、4日間の来場者は209名となった。
	◆11月16日「逗子市立図書館おはなし会」	逗子市図書館おはなし会には、昨年の4作品を大きく上回る、15作品の申込があり、その中から2作品が読み聞かせの作品に選出された。午前の回は2〜3歳児を対象とした「おひざにだっこのおはなし会」で、作品『わっ!』が読まれると、集中して話を聞いていた。午後の回は4〜6歳児を対象とした「わんぱくおはなし会」で、作品『たまごたまご』の読み聞かせを行った。作品の中に仕掛けもあり、来場者は楽しそうに読み聞かせを聞いていた。
	◆11月19日 チケット発売 「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の美人魚姫』」	10時より「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の美人魚姫』」のチケット発売を開始。初日に4枚の予約があり、11月末までのホール販売分の予約は18枚となっている。今後も広報活動に協力していく。
	◆11月18日 共催「逗子次世代育成プロジェクトVol.4 和太鼓×篠笛 Session Live」	今年で4回目の開催となる逗子次世代育成プロジェクト。今年は「和太鼓×篠笛のSession Live」を開催した。また、公演前には昨年好評だった「和太鼓ワークショップ」も実施し、9名の参加があった。 「和太鼓ワークショップ」は、出演者3名が講師を務め、構えやバチの持ち方などのレクチャーを行った。普段、地域のお囃子保存会で太鼓を叩いているという参加者も多数おり、休憩中も和太鼓のことや篠笛の種類などを熱心に質問する姿が見られた。ワークショップの最後には、篠笛のメロディーに乗せて、姿勢や打点などを意識しながら和太鼓を力強く叩き、全員で1曲を演奏した。アンケートでは「すっきりした」「楽しかった!」などの意見が寄せられ、有意義な時間を過ごすことができたようであった。 公演の前半は、和太鼓や篠笛など各楽器の演奏をメインに演奏が行われ、それぞれの音の深みが客席内に響き渡っていた。3人のトークコーナーでは、次世代育成プロジェクトのコンセプトや自身がなぜその楽器を極めようと思ったのかなどを話され、客席からは時折、笑いが起こりながらも演者の熱意に耳を傾けていた。 後半は、女性和太鼓グループ「識」の演奏や、和太鼓と篠笛のSessionと続き、客席に手拍子を求めるなど、客席からも楽しそうな手拍子が聞こえていた。 アンケートでは、「次世代への文化の継承」について、書かれている方もいるなど、本プロジェクトが観客の心に届いているのだと感じた。今後も、文化の継承、次世代の育成の一助となれるような企画を行っていく。
12月	◆12月1日 チケット発売 「宮田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ」	10時より「宮田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ」のチケット発売を開始。チケット発売前から問い合わせが多数あり、初日に151枚の予約があった。12月末までの予約は377枚となっており、好調なスタートとなっている。今後も広報活動を行い売上を目指す。
	◆12月3日「細川千尋 ピアノトリオ JAZZ LIVE Seasons of Love〜Broadway Jazz Grooves」	クラシックとジャズにルーツを持つジャズピアニスト細川千尋氏とドラム セバステリアン・カプティン氏、ベース 小山尚希氏を迎え、トリオによるジャズコンサートを開催した。 曲目は1960年代以降のミュージカルナンバーを中心に演奏し、全身を使いながら力強く、そして繊細な演奏に、観客は引き寄せられるように聴き入っていた。細川氏がミュージカルナンバーを演奏してみたと思ったきっかけとなった『The Phantom of the Opera』は、細川氏によるソロ演奏で、その世界観を美しく表現していた。アンコールは『ケイク・ウォーク』と『そりすべり』が演奏され、楽しい雰囲気のまま公演は終了した。 アンケートでは、「サン・アンド・ムーン、再生、そりすべりが素晴らしかったです!!」「ピアノの音色が素晴らしい」など、好評の声をいただいた。
	◆12月8日「アート便2023(和太鼓)」	今年度のアート便7施設目として、沼間中学校にて2年生を対象に「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩-sai-を迎えた。 最初は緊張した面持ちだった生徒たちも、次第に手拍子をしたり、リズムを取っている姿が見受けられ、間近で見る迫力の演奏に、みな楽しんでいる様子だった。体験には代表7名が参加。バチを真つすぐに上げて、素早く振り下ろすと音が大きくなるということを講師から教わり、音が大きく響くと、客席も驚いた様子だった。
	◆12月9日「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導⑤」	1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol. 5」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への5回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 本番の流れや逗子開成高等学校のみの演奏の確認を行った。
◆12月13日「アート便2023(落語)」	今年度のアート便8施設目として小坪小学校6年生、アート便9施設目として、久木小学校6年生を対象に「落語」を提供し、講師には三遊亭わん丈氏を迎えた。 生徒たちは教室に入ると、三遊亭わん丈氏の名前の読み方や毛髯に興味を示し、アート便が始まるのを楽しそうに待っていた。わん丈氏の落語が始まるとジェスチャーの真似をするなど、落語を楽しむ姿が見られ、体験コーナーでは、小坪小学校では代表4名、久木小学校では代表3名がそばを食べるしぐさを体験し、見事なそばを食べるしぐさを披露し、客席からも大きな拍手が送られていた。	

令和5年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
12月	◆12月14日「アート便2023(和太鼓)」	今年度のアート便10施設目として、久木中学校にて2年生を対象に「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩 -sai-を迎えた。 今回は、整列の際クラスとクラスの間通路を作り、講師が客席から降りた際に、列の後方まで講師が回れるようにしたため、間近を通る講師に驚いたような表情を見せる生徒もいた。また、篠笛のロングトーンや大太鼓の演奏では、「すごいね」と話す声が聞こえるなど、みな集中して演奏を楽しんでいた。体験コーナーでは、応援の声や元気の良い掛け声が聞こえ、終始、盛り上がったアート便となった。
	◆12月16日「0才からのコンサート ピバ！！パーカッション」	ファミリー向け公演として、マリンバ、ヴィブラフォン、スネアドラム、トライアングルなどの打楽器とピアノによる生の音楽を目で見て体で感じるコンサートを開催。 出演は東京藝術大学出身のパーカッショニストによって結成された「Mallet Garden(マレット・ガーデン)」。出演者には市内で音楽活動をされているパーカッショニストの齋藤梨々子氏にもご出演いただき、地域ゆかりのアーティストの活躍の場となった。各演奏者が様々な楽器を駆使して演奏する姿を楽しんでいる様子が見られた。また、体験コーナーの「リズムであそぼ」では、演奏に合わせて手拍子を行い、「ボディ・パーカッション」では、子どもたちが立ち上がり演奏に合わせて頭から足までを叩きながらリズムをとり、隣の席の大人や子どもたちと一緒に楽しんでいる様子が印象的であった。 0才から入場できる公演や、途中での入退場が可能であることなど、今後も気軽に足を運んでいただけるような、ファミリー向けの公演を開催していく。
	◆12月20日「アート便2023(世界の音楽)」	今年度のアート便11施設目として、逗子中学校2年生を対象に、葛西啓之氏(和太鼓)、杉田篤史氏(アカペラ)、東川翼氏(フラメンコギター)の3名を講師に迎え、「世界の音楽」を提供した。 各楽器・歌の歴史や音色を紹介するコーナーでは、うなずく生徒もいるなど真剣に講師の話聞く姿が見られた。また、ハミングは恥ずかしそうにしていたが、手拍子ではリズムに合った手拍子が聞こえ、講師による演奏と心地よく合っていた。 アート便終了後も、講師に質問をする生徒もおり、それぞれの心に残ったアート便になったようだった。
	◆12月26日「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導⑥」	1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.5」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への6回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 本番の流れや逗子開成高等学校のみの演奏の確認を行った。
1月	◆1月13日「第1回 なぎさ合唱団合唱練習」	1月13日に山田姉妹のお2人と内門卓也氏を講師に迎え、なぎさ合唱団の第1回目の合唱練習を行った。なぎさ合唱団の募集には、小学校5年生～80代まで幅広い年齢層の方から申込みがあり、23名で活動を行った。 約2時間の練習では発声練習や、目線の置き方などのポイントレッスンから、パート毎、全体で合唱練習などを行い、気をつける個所などを確認した。次回の練習日までに、各自自主練習を行い、今回は本番の配置を想定しながら練習を実施する。
	◆1月19日「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導⑦」	1月20日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.5」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への7回目の事前指導をなぎさホールにて行った。 ホールで初めて合同練習を行い、翌日の本場に向けステージへの出入りや立ち位置の確認を行った。
	◆1月20日「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.5」	今年で5回目となる和太鼓グループ彩 -sai-と逗子開成高等学校和太鼓部によるコラボレーション公演を開催。今年は和太鼓グループ彩 -sai-の「プロ化10周年記念プロジェクト」と題し、本公演がプロジェクトの1公演に選定され、ゲストには市内出身のフラメンコギタリスト東川翼氏をお迎えした。 共演にあたり事前指導を計7回実施した。今年もVol.1公演に出演していた当時高校2年生の瀬能氏が和太鼓グループ彩 -sai- WINGSのメンバーとなり、瀬能氏作曲の新曲「滯」もコラボレーション演奏でお届けした。逗子開成高等学校和太鼓部の演奏曲にOBのお2人も一緒に演奏したほか、アンコールではVol.2公演時に逗子公演のために作曲いただいた「踊る海鳴り」も披露し、今年ならではの公演となった。 また今年も、逗子文化プラザパートナーズ代表企業、株式会社JTBコミュニケーションデザインが行っている各施設のある地域に居住する子どもたちやご家族を公演にご招待し、文化芸術に触れていただくことで豊かな心の育成、喜びの創出に貢献する取組み「こころ羽(は)プロジェクト」の対象公演とし、51名の申込がありご招待をした。ご招待にあたり、対象のご家庭にチラシを配布するなど各所管課にもご協力いただいた。 アート便での効果もあり、例年よりも高校生以下のチケットの券売が多くみられ、逗子での多くの活躍により、完売目前となった。 プロと高校生がコラボレーションする取組を好評価する声、毎年楽しみにしているご意見をいただき、多くの方に満足いただいた公演となった。次年度以降も逗子からプロの道へ羽ばたく地元アーティストの育成の一助を担っていく。
2月	◆2月3日「第2回 なぎさ合唱団合唱練習」	2回目のなぎさ合唱団の合唱練習を行い、練習に加えて本番を想定し、各々の立ち位置や舞台上の流れの確認をした。 練習では参加者が山田姉妹のお2人が発する一語一句、曲中の息遣いも聞き漏らさぬよう、真剣な眼差しで耳を傾け、より良い歌を作り上げようとする雰囲気満ちていて、次回の本番前のリハーサルに向け、充実した練習となった。
	◆2月10日「華麗なる双子 山田姉妹ソプラノデュオコンサート ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー ～ 逗子のころ～ with なぎさ合唱団」	結成から7年、市内出身で逗子市広報大使でもある、ソプラノデュオの山田姉妹による「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」を開催。市民や近隣市町村だけでなく、他県からの山田姉妹ファンも多く来場された。また、来場者の年齢の幅広さから、クラシックから童謡まで様々なジャンルを歌いこなす山田姉妹の支持の高さを改めて感じさせられる公演となった。 公演前には、なぎさ合唱団と本番前のリハーサルを実施。温かく、時には笑いも交えたアドバイスは、合唱団員一人一人のポテンシャルを本番直前にもさらに引き出していた。 公演が始まると、2人のソプラノとピアノだけでは思えない音の厚みと、空気が瞬時に変わる山田姉妹お二人の華やかさで、聴衆の視線と耳は一瞬にしてステージに釘付けとなった。ステージが十分に温まった前半最後は、今回の目玉の一つである、なぎさ合唱団とのコラボレーション「翼をください」、「Starry Heart～輝く心～」、「この街で」の3曲を合唱し、唯一無二の感動的な歌声をホールに響き渡してくれた。 後半はがらりと変わり、重厚感あるオペラの名曲を、華氏、麗氏がそれぞれ歌われるプログラムをメインに構成され、お二人での歌唱時とは異なる魅力も魅せる。 本公演は、完売目前の売れ行きで、完売まであと一歩だった。今後もより多くの方に来場いただけるよう、広報に努めるとともにお客様により楽しんでいただけるような企画を行っていく。
	◆2月17日「さざなみ亭落語会 三遊亭わん丈&みんなで創る落語会 其の七」	昨年に引き続き、三遊亭わん丈氏によるさざなみ亭落語会を其の七と題して開催。毎年恒例のお客様からお題をいただき一席を創る三大噺企画やゲストの立川寸志氏とのトークコーナーを設け、逗子オリジナルの落語会として開催した。 公演日3日前にはチケット完売となった。公演前にアート便を行ったことで、受講した学校の生徒が保護者とともに来場したことや、三遊亭わん丈氏の真打昇進直前公演であったことなどがチケット完売の要因と考えられる。開場前には60名以上の方が開場をお待ちになり、本公演を楽しみに待っている方が多いことが伺えた。 着物に着替える前の私服姿で登場した三遊亭わん丈氏と立川寸志氏のトークで落語会が開始した。前座は柳家八八氏が務め、「元犬」を披露し場を温めた。続いて三遊亭わん丈氏が登場。「荒茶」を披露し笑いを誘い、続けて開場時に入口で来場者に書いていただいた、お題を発表し、その中からじゃんけんで勝ち残った3つのお題が選ばれ、「婚活」「不適切」「岩手県」に決定した。その後、立川寸志氏が登場。「片棒」を披露し、場内は大いに盛り上がった。仲入り明けの会場に三遊亭わん丈氏が登場すると、大きな拍手が起こった。三遊亭わん丈氏は、選ばれた3つのお題を盛り込んだ噺を披露。即興で創ったとは思えない完成度の高い噺に、会場からは笑いが起こった。最後にわん丈氏が「井戸の茶碗」を披露。登場人物がすべて実直な善人という明るい人情噺で落語会は終了した。 アンケートでは「面白かった」「また落語会にきたい」などの声をいただいた。アート便からホールへという流れが継続できており、今後も、幅広い年代に日本の伝統文化である落語に親しんでもらえるよう、公演を企画していく。

令和5年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
2月	◆2月20日 「アート便2023(落語)」	今年度のアート便12施設目として久木中学校3年生を対象に「落語」を提供し、講師には三遊亭わん丈氏を迎えた。古典落語「お見立て」では、わん丈氏のしぐさや表情などに、くすくすと笑いだす姿が見られた。また、「お見立て」に出てきた、扇子などの使い方の説明では、感心したように真剣にわん丈氏の話聞いていた。今回は、卒業間際の中学3年生が対象ということもあり、わん丈氏の友人「あっ君」の話や質問コーナーなども設けられ、新たな門出を祝うアート便となった。
	◆2月21日 「アート便2023(世界の音楽)」	今年度、最後のアート便は、講師に葛西啓之氏(和太鼓)、杉田篤史氏(アカペラ)、東川翼氏(フラメンコギター)の3名を迎え、逗子中学校3年生を対象に「世界の音楽」を提供した。最初は、恥ずかしそうにしていた生徒たちも、講師と一緒に手拍子をしたり、足踏みをするなど、一緒に演奏を楽しむ様子が見られ、太鼓を叩くジェスチャーをする生徒もいた。最後は華やかに、「お祭りマンボ」で、卒業を控えた生徒たちの門出を祝した。
	◆2月23日 「不屈の夏」上映講演会への協力	『不屈の夏』逗子上映実行委員会主催、逗子市共催、逗子文化プラザホール協力(他、共催協力後援あり)の座組で開催された、「不屈の夏」上映講演会において、下記の開催協力を実施した。市民実行委員会の中に委員として参画し、当ホールが持つ公演制作ナレッジで支援することで、結果として申し込み開始から2日間で定員満席、追加上映会も定員満席と、成功裡に終わることができた。 《ホール協力内容》 ・実行委員会組成支援(開催概要、共催協力後援整理、実行委員会会議運営など) ・公演制作支援(タスク管理、スケジュール管理、票券管理、申込管理、歩留まり管理など) ・広報制作支援(広報素材制作、各種広報施策、パブリシティ、メディア取材対応など) ・当日運営支援(プログラム制作、会場運営計画、スタッフィング、進行台本など) ・舞台技術支援(舞台打合せ、裏方調整、手話通訳・要約筆記調整など) ・計画報告支援(計画書、報告書、行政共催手続き、収支計画・報告など) 《通常の協力条件を越えて実施する内容》 ・ホール窓口での無料整理券配布にあたり、無料整理券配布手数料の免除 ホール協力にあたっては、市民協働部様・障がい福祉課様にご配慮いただき、「共催事業にかかる協力について(依頼文)」を発出したばかり、無料整理券の配布(手数料免除)について正規の業務として位置付けていただいた。今後も、ホールが持つナレッジを、市民団体が主催する催事に協力支援することで、「地域の文化を市民の手で拓く」支援を行っていく。
	◆2月28日 「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の美人姫』」	神奈川芸術劇場との共催で「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の美人姫』」を開催。世界中で親しまれている「美女と野獣」「人魚姫」、二つの物語の舞台を神奈川県に移し、神奈川県内各地域の伝説やエピソードを盛り込んだ演劇であった。多くの輸送用パレットを使用した段のみが設置された舞台上で繰り広げられる出演者の演技、ダンス、音楽により、観客は物語の魅力に引き込まれた様子であった。また終演後には、神奈川芸術劇場芸術監督の長塚圭史氏によるアフタートークも開催され、帰宅されるお客様には笑顔が見られ、多くの方が満足されたように伺えた。本事業は、神奈川芸術劇場が県の施設として県内基礎自治体施設と連携をはかることを目的とした巡回公演「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」の第二弾として、神奈川芸術劇場で上演後、座間、川崎、小田原、逗子、茅ヶ崎の県内5か所を巡回されるものである。単独施設では事業制作面・採算面からも実施が難しい演劇公演を開催し多くの方が気軽に足を運んでいただけたことが一番の成果である。今後も、本公演のような良質なプログラムを提供できるよう努めていく。
3月	◆3月20日 「宮田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ ～チェロとハープによる美しい音色～」	国内外で活躍する人気チェリスト・宮田大と、日本のハープ界を牽引する山崎祐介による逗子だけでのスペシャル・デュオコンサートを開催。人気チェリストとハープ界のレジェンドの競演を一目見ようと、チケットは発売2カ月で完売。完売後も問い合わせを受けるほど好評ぶりだった。開演直前、始まりを待ちわびる来場者のざわめきは、演奏者お二人への敬意を示すかのように沈黙に変わり、穏やかな静寂の中で演奏が始まった。丁寧に奏でられる音の一つ一つを、聴衆も音のプレゼントを受け取るかのように柔らかな表情ながら真剣に聴いている様子が伺えた。プログラムは多くの方が一度は耳にしたことがある曲目ばかりではあったが、チェロとハープではこんなにも柔らかく包容力がある音色になるのかと驚かされた。奏でる音同様に深みのあるトーンに、時折笑いを交えたMCは公演にリズムを与え、心地良いテンポで終演を迎えた。会場を後にする方々の表情は満たされた様子で、演奏者のお二人からも、ホールの響き、来場者の皆様の聴かれる姿勢に好評をいただいた。今後も、演者からも来場者からもご満足いただける公演を提供していきたい。
	◆3月23日、24日 共催 「逗子トモイクフェスティバル2024」	市民交流センター主催の、世代を超えた地域コミュニティの活性化、地域間交流を通じて、「共に学び、共に育つ『共育(ともい)のまち』」の実現を目指したイベントを開催。ホールでは、23日に、なぎさホールで「Music Fair 2024」、さざなみホールにて、「ライアー(竖琴)で紡ぐ世界の童謡」、「演劇ワークショップ」を開催。24日は、なぎさホールで「逗子ライブ・インクルーシブ2024」、さざなみホールにて「逗葉でこぎけんよう」、「グラウンド・レベル・シネマ in Zushi」を開催した。また、23～24日ギャラリーで「くらしの中に絵本を」、「逗子の昆虫500展プラス」を実施した。市民交流センターでの企画応募後から、企画者と内容の打合せや相談対応、ホール&ギャラリーニュース1月号にて広報の協力、各団体のリハーサル調整等を担った。次年度も引き続き市民交流センターと協力し、市民が活躍できる場を提供していく。